

# 地域ボランティア 其の一



今年初め、福生団地の方から、4年ぶりに開催する恒例の餅つき大会に、若い人手が足りず、“つき手”として協力してほしい、と依頼をいただき、2月4日(日)寮生ら3名とスタッフ1名で行ってきました。

大会運営のみなさんからすると、孫のような世代の若者の参加をととても嬉しく思っていた様で、豚汁やお菓子の差し入れなどをたくさんいただきました。その期待に応えるように、餅つきの準備から積極的に手伝っていましたが、いざ本番の餅つきが始まると手慣れたベテラン勢らの勇ましい姿に萎縮してしまい、杵を渡されても身動きできず「いや、いいです」と遠慮する始末。それでもみなさんの優しいサポートのおかげで、へっぴり腰から徐々に上手くなり、無事に餅をつくことができ、最終的には「(餅をつく)音が良くなった!」と誉めてもらいました。

年始に寮で開催した餅つきではもち米7kgでしたが、今回は40kgオーバー!! ついても、ついてもなくなる餅に、四苦八苦しましたが、大会運営のみなさんの協力でなんとかつき終わることができました。片づけ終了後、打ち上げにも参加させてもらい、疲れたと思いますが、最後まで楽しそうでした。ただ、翌日みんな筋肉痛でした(笑) (スタッフ笹井)



↑餅つき開始前の待機中、お菓子を食ったり、婦人会の豚汁作りなどを手伝ったり↑



準備も積極的にお手伝い



打ち上げにも参加



満面の笑みで談笑中



杵をつく姿もずいぶんサマになっているでしょ♪